

2020年12月18日

あきる野市公共交通検討委員会

委員長 小根山裕之 殿

委員

公共交通の改善等について

第10回検討委員会の議案について、発言を補足する資料を添付させていただきます。

1. 「るのバス」利用実態調査結果について、

コース別、バス停別、乗降者数をまとめてみました。(資料1、資料2)

① 医療センター、市役所、いきいきセンター、五日市ファインプラザでの乗降が多く、空白地域のフィーダー交通を考えると、その受け皿になる「基幹交通の増強」、また接続していくことが求められます。(資料3)

② 秋川・草花コースについて、乗降者数が、なかったところは、10件。1名、2名のところは、秋川草花コース30のバス停のうち、半数の16件でした。

車をつかえない方の利用が中心と考えられます。私は、「るのバス」の増発・増便で利便性の向上で、利用しやすくなることで、利用が増えるものと考えられます。

またこれから免許証の返上で、地域の公共交通に頼る方も急速に増えます。「るのバス」の増発・増車はこれらの声に応えるものと思います。(資料4)

2. 地域公共交通、「るのバス」について、これまでの各種アンケートからきっちりとみておきたいと思います。

(1) 平成28年6月の167ページの「あきる野市地域公共交通利用に関する市民意識調査結果」市民の交通行動の実態や公共交通に対するニーズを把握するため、5000人を対象としたアンケートを実施しました。(資料5) この中で

問27の、あなたが普段から「るのバス」を利用する（または今以上に利用する）ためにはどのようなことが必要ですか。複数回答を求めたところ

運行本数を増やすこと 構成比率44% バス停を近くにつくること 21%

バスの行き先をわかりやすくすること 19%

運行日を増やすこと 15%& 運行時間を延ばすこと 14% の順になっています。

また何を改善しても利用することはないと思ひことは26%もありました。

(2) 平成30年に実施した市民アンケート調査では、施策別の満足度・重要度の設問において、満足度は最下位、重要度は第3位となっています。(資料6)

(3) 第二次総合計画の策定に抜けての市民ワークショップでも、「るのバス」の利便性の向上を求めています。(資料7)

3. 「志清会」の公共交通の考え方から

あきる野市の公共交通に対し、いろいろな提案がされることは、大変望ましいことです。

しかし市清会の「提案」は、既存の「るのバス」は、今まで通り運行させ、旧秋川市地域に、4台のワゴン車の循環、旧五日市地区では、2台のワゴンタクシーの運行となっています。ワゴン車については、フィーダー交通の提案になります。

身近なところにバス停があり、診療所に、また駅に行けることは望ましいといえます。しかし有料で、定路線型のワゴン車の運行は、「車両制限令」による道路の幅員規制があります。

この車両規制を持ち出すまでもなく、志清会の「提案」によるワゴン車の運行コースは、すれ違いも難しく運行はできません。

「東秋留エリア」の野辺地区は、途中4mのところはありますが、あとは3mそこそこ。(資料8)「南秋留地区エリア」では、411線の信号「牛沼」から牛沼中通り、睦橋通りに抜ける道は、3.5mです。(資料9)「多西エリア」でも、秋川駅から、駅前大通を北上し、瀬戸岡に入ると、すれ違いも難しくなります。(資料10)

すれ違いも難しい道路を、ワゴン車といえども有料で、定路線型の運行は、現実的に運行はできません。

またバス停の設置は、大変な規制があり、そのためには調査も必要で、一つの路線を決めるにも、相当の時間がかかり現実的ではありません。

4. 「るのバス」増発増便で利便性が大きく高められます。

・「るのバス」の増発・増便で、東秋留地区のグリーントウンまで、パークハイツは、現在パークハイツの下にバス停がありますが、坂の上にもバス停を設置できます。

・西東京バスの秋川駅と福生駅間の西東京バスが減便になったことから、二宮、屋城地区の住民の足に不便が生じています。「るのバス」のコースの一部変更と増発・増便で対応できます。

結論

これまでも地域公共交通の向上、また「るのバス」に対しての市民の強い要望があります。恐らく今まで以上に強まっていくと思います。

公共交通空白地域に対し、フィーダー交通の導入等で、対策を検討していることですが一つの基幹交通である「るのバス」の増強も、並行して進めることが求められます。

以上。

資料 1

五日市コース（五日市駅→秋川駅）			
	乗車	下車	乗降計
五日市駅	7	0	7
東町	0	0	0
五日市	0	1	1
五日市出張所	2	0	2
上町	1	0	1
小和田	0	1	1
留原上	2	5	7
高尾	0	0	0
三内	0	0	0
横沢	0	0	0
伊奈坂上	1	0	1
伊奈	0	1	1
伊奈新宿	0	0	0
網代入口	2	0	2
武蔵増戸駅	1	0	1
五日市ファイン	2	1	3
山田	2	0	2
東山田	1	0	1
引田	1	0	1
原店	3	0	3
武蔵引田駅入口	0	2	2
阿伎留医療 C	1	7	8
日の出福祉所	0	0	0
秋川 3 丁目	0	2	2
秋川キララ	1	3	4
秋川駅	4	4	8

秋川駅→五日市駅			
	乗車	下車	乗降計
秋川駅	13		13
秋川キララ	2	0	2
秋川 3 丁目	0	0	0
日の出福祉園	0	0	0
阿伎留医療 C	3	1	4
武蔵引田駅	0	0	0
原町	0	2	2
引田	0	2	2
東山田	0	2	2
山田	1	2	3
武蔵増戸駅	2	3	5
五日市ファイン	1	0	1
網代入口	0	0	0
伊奈新宿	0	0	0
伊奈新宿	0	1	1
伊那坂上	0	2	2
横沢	0	0	0
三内	0	1	1
高尾	0	0	0
留原上	0	1	1
小和田	0	0	0
上町	1	0	1
五日市出張所	0	0	0
五日市	0	0	0
東町	0	0	0
五日市駅		6	6

秋川医療センターコース			
	乗車	降車	乗降計
秋川駅	16		16
秋川キララ	1	4	5
秋川 3 丁目	0	0	0
日の出福祉園	0	7	7
阿伎留医療 C	1	3	4
武蔵引田駅	0	0	0
原町	0	2	2
淵上	0	0	0
代継	0	0	0
秋川駅		2	2

資料2

秋川草花コース			
	乗車	下車	乗降計
秋川駅	8		
保健相談所	0	0	0
あきる野市役所	2	2	4
秋留台消防	1	0	1
瀬戸岡中賀多	0	0	0
瀬戸岡上賀多	0	0	0
菅瀬橋	0	0	0
若宮	0	0	0
鯉川橋	0	1	1
小宮久保上	0	1	1
松山会館入口	2	2	4
多西児童会館前	0	0	0
松山橋	0	1	1
西ヶ谷戸西通り	0	0	0
橋場	0	0	0
草花パークパイツ	2	1	3
山ノ神	1	0	1
西ヶ谷戸西通り	0	0	0
花蔵院入口	0	0	0
慈照寺入口	0	1	1
花ノ岡陸橋	2	0	2
花ノ岡南	1	0	1
森山北	0	1	1
森山会館	0	1	1
平高橋	1	0	1
中高瀬	2	0	2
平沢八幡本社前	1	0	1
秋川ふれあいC	0	0	0
中公・体育館	0	1	1
東中学入口	1	0	1
あきる野市役所	0	5	5
保健相談所	0	1	1
秋川駅		6	6

秋川小川コース			
	乗車	降車	乗降計
秋川駅	10		10
あきる野市役所	0	0	0
荻野センター	1	0	1
西雨間	0	0	0
雨間	0	1	1
南雨間	0	0	0
秋川台入口	0	0	0
いきいきC	2	5	7
秋川台入口	1	0	1
南雨間	2	0	2
雨間	1	0	1
東雨間	1	0	1
日室塚	0	1	1
野辺郵便局	0	0	0
野辺南	0	1	1
西小川	0	0	0
小川	0	0	0
玉見ヶ崎	0	0	0
睦橋	0	0	0
小川東1丁目	0	0	0
玉見ヶ崎	7	0	7
小川	2	0	2
西小川	0	0	0
野辺南	3	0	3
野辺	4	0	4
二宮神社	1	1	2
東秋留駅上	2	3	5
ファーマーズC	0	0	0
東中学校入口	0	3	3
あきる野市役所	0	1	1
保険相談所	0	1	1
秋川駅		22	22

資料3 主なバス停での乗車数 11/30

	五日市コース	医療センターコース
医療センター	12	4

	秋川草花コース	秋川小川コース
市役所	9	1

	秋川小川コース
いきいきセンター	7

	五日市コース
五日市ファインプラザ	4

	秋川草花コース	秋川小川コース
公民館・体育館	1	
東中学校	1	3

	五日市コース	医療センターコース
日の出福祉園前	0	7

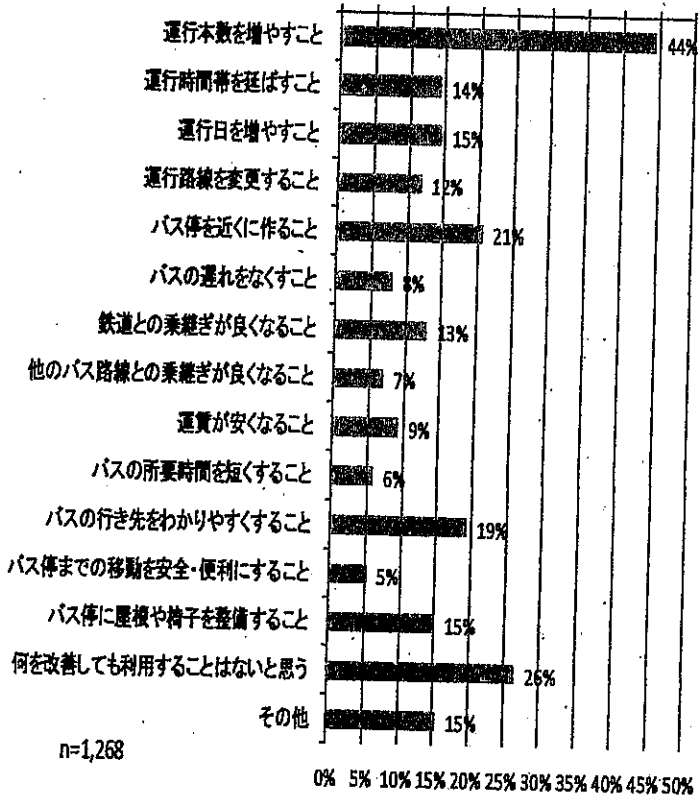
資料4 秋川・草花コース バス停別乗降者数

市役所	9
松山会館	4
草花パークハイツ	3
16件	1～2
10件	0

問 27 あなたが普段から「るのバス（市内循環バス）」を利用する（又は今以上に利用する）ためには、
どのようなことが必要ですか。（当てはまる数字すべてに○をし、その内容を記入）

〔複数回答〕

選択肢	回答サンプル数	構成比率
運行本数を増やすこと	564	44%
運行時間帯を延ばすこと	182	14%
運行日を増やすこと	184	15%
運行路線を変更すること	149	12%
バス停を近くに作ること	261	21%
バスの遅れをなくすこと	101	8%
鉄道との乗継ぎが良くなること	165	13%
他のバス路線との乗継ぎが良くなること	89	7%
運賃が安くなること	117	9%
バスの所要時間を短くすること	74	6%
バスの行き先をわかりやすくすること	244	19%
バス停までの移動を安全・便利にすること	66	5%
バス停に屋根や椅子を整備すること	190	15%
何を改善しても利用することはないと思う	335	26%
その他	195	15%
回答者数	1,268	-



施策別の満足度・重要度の順位及びクロス集計

市で実施している40の施策について、それぞれの満足度と重要度を5段階で評価しています。
40施策の評価結果のうち、「わからない」「無回答」を除く、各施策の結果を数値化し、平均点を50点とした標準得点(偏差値)※を算出して、その結果を表及び散布図として表しました。

施策名称		満足度		重要度	
		標準得点	順位	標準得点	順位
都市整備分野	1. 計画的な土地利用の推進	34.41	37	55.01	15
	2. 良好な市街地の整備	37.72	34	55.05	14
	3. 緑豊かな都市環境の形成	52.85	15	53.87	16
	4. 道路の整備	37.34	35	63.15	4
	5. 公共交通網の充実	16.68	40	64.57	3
	6. 下水道の整備	68.75	1	58.00	10
産業分野	7. 地域特性を活かした企業の誘致と既存企業への支援	32.59	39	50.91	21
	8. 活力ある商業の振興	32.82	38	50.39	22
	9. 地域特性を活かした観光の振興	52.78	17	47.86	28
	10. 消費者志向の都市型農業の推進	62.47	3	48.30	25
	11. 自然と調和した林業の育成	44.77	33	48.23	26
生活環境分野	12. 防災対策の推進	50.51	24	62.19	5
	13. 交通安全の推進	53.92	13	47.70	29
	14. 防犯対策の推進	52.20	20	59.29	9
	15. 公害防止の推進	55.53	11	57.50	11
	16. コミュニティ活動の推進	54.30	12	37.28	36
	17. ごみの減量と適正処理の推進	67.60	2	50.97	20
	18. 水と緑に密着した生活環境づくりの推進	59.28	5	52.17	18
保健福祉分野	19. 高齢者が安心して生活できる支援の充実	47.65	30	61.41	6
	20. 障がい者が安心して生活できる支援の充実	48.85	28	56.64	13
	21. 健康づくり・保健の充実	61.98	4	52.08	19
	22. 市民が安心できる地域医療体制の充実	50.51	25	65.20	1
	23. 子育て支援の充実	51.70	22	59.73	8
	24. 総合的な地域福祉の推進	51.96	21	49.65	23
教育文化分野	25. 人権尊重の推進	46.54	31	59.74	7
	26. 男女共同参画社会の実現	50.76	23	37.81	34
	27. 国際化の推進	52.93	14	27.41	40
	28. 生涯学習の推進	58.46	6	37.32	35
	29. 次代を担う青少年の育成	52.73	18	52.25	17
	30. 義務教育の充実	52.85	16	56.67	12
	31. 文化財の保護と活用	56.45	9	40.99	31
	32. 芸術文化の振興	56.91	8	32.02	38
	33. スポーツ・レクリエーションの振興	57.94	7	35.77	37
行財政運営分野	34. 財政運営の健全化	34.80	36	65.17	2
	35. 情報化の推進	47.72	29	43.07	30
	36. 職員の活性化	44.88	32	48.63	24
	37. 効率的効果的な業務執行体制の実現	50.02	26	48.13	27
	38. 市民との協働を目指した市民参加の推進	49.33	27	39.96	32
	39. 広域行政の推進	55.84	10	29.81	39
	40. 議会の円滑な運営	52.66	19	38.08	33

※ 標準得点(偏差値):個々の施策の得点を、平均点が50点、標準偏差(平均からの隔たり)が10点の正規分布になるように換算して、ある施策の得点(評価結果)が全体の施策の中でどこに位置するかを示したものです。

◆ワークショップの様子



◆第1回結果概要 (データから見るあきる野市の全貌、全体の傾向 (意見が多かったデータ))

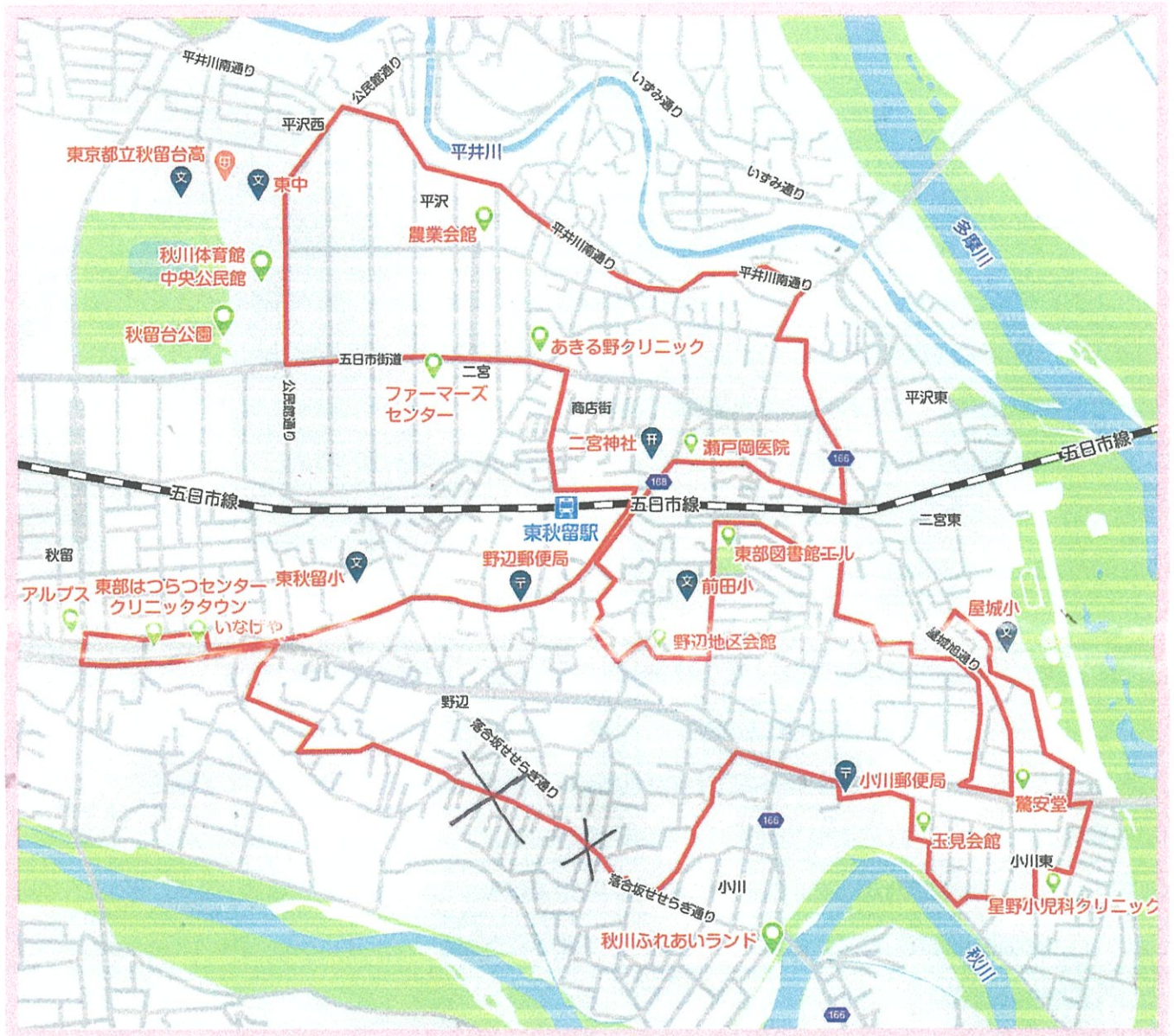
順位	データ項目	主な意見 (賛否)
第1位	・住宅事情 (住宅戸数・空き家戸数)	・空き家が増えており、利活用の検討が必要 ・狭い土地に小さな戸建て住宅が虫食いの状態で増えている
第2位	・鉄道 (乗車人員の推移)	・五日市線は本数や接続の面から不便である ・五日市線の利用者減は通勤利用の減少 (企業の撤退、生産年齢人口減) が要因の一つではないか ・のバスの利便性 (便数、ルート等) の向上が必要 ・のバスを使ったことがない、知らない人が多い
第3位	◆地域公共交通の状況	・人口増/減は生活利便性 (交通、買い物等) に左右されるのではないか
第4位	◆地区別人口	・戸倉地区の人口減が特徴的
第5位	◆商業	・個人商店が減少している ・一か所で買える物ができる商業施設を利用している
	◆観光 (注目度の高い施設)	・東京サマーランド以外の観光資源の発掘、PRが必要 ・地域への経済効果を高めることが必要

◆第1回結果概要 (データから見るあきる野市の全貌、地域別の傾向 (意見が多かったデータ))

順位	東部	中部	西部
第1位	・住宅事情 (住宅戸数・空き家戸数)	・住宅事情 (住宅戸数・空き家戸数)	◆住宅事情 (住宅戸数・空き家戸数)
第2位	・観光 (滞在人口)	◆地区別人口	◆地域公共交通の状況
第3位	・総人口・世帯数	◆鉄道 (乗車人員の推移)	・路線バスの利用者数
第4位	◆鉄道 (乗車人員の推移) ◆地域公共交通の状況 ◆観光 (注目度の高い施設)	・健康寿命	◆地区別人口 ◆鉄道 (乗車人員の推移)
	◆総人口・世帯数		

東秋留エリア

- 東秋留駅を中心に平沢、二宮、二宮東、小川東、野辺などを1台で循環
- 主な目的地は、秋川体育館などの公共施設をはじめ、スーパーマーケット、金融機関、病院など



凡例：● 買い物 ● 学 学校 ● 医 病院等 ● 金 金融機関 ● 公 公共施設 ● A ATM

【運行ルート例】

出発 東秋留駅北口 → 商店街 ● → あきる野クリニック ● 医
 → ファームズセンター ● → 秋川体育館・中央公民館 ● 公 → 東中 ● 学
 → 農業会館 ● 公 → 瀬戸岡医院 ● 医 → 東秋留駅近く → 野辺地区会館 ● 公
 → 前田小 ● 学 → 東部図書館エル ● 公 → 驚安堂 ● 医 → 屋城小 ● 学
 → 星野小児科クリニック ● 医 → 玉見会館 ● 公 → 小川郵便局 ● 金 → 小川・野辺地区
 → スーパーアルプス ● A ● 医 → クリニックタウン ● 医 → 東部はつらつセンター ● 公
 → いなげや雨間店 ● A ● 医 → 野辺郵便局 ● 金 → 東秋留駅北口 **到着**

南秋留エリア

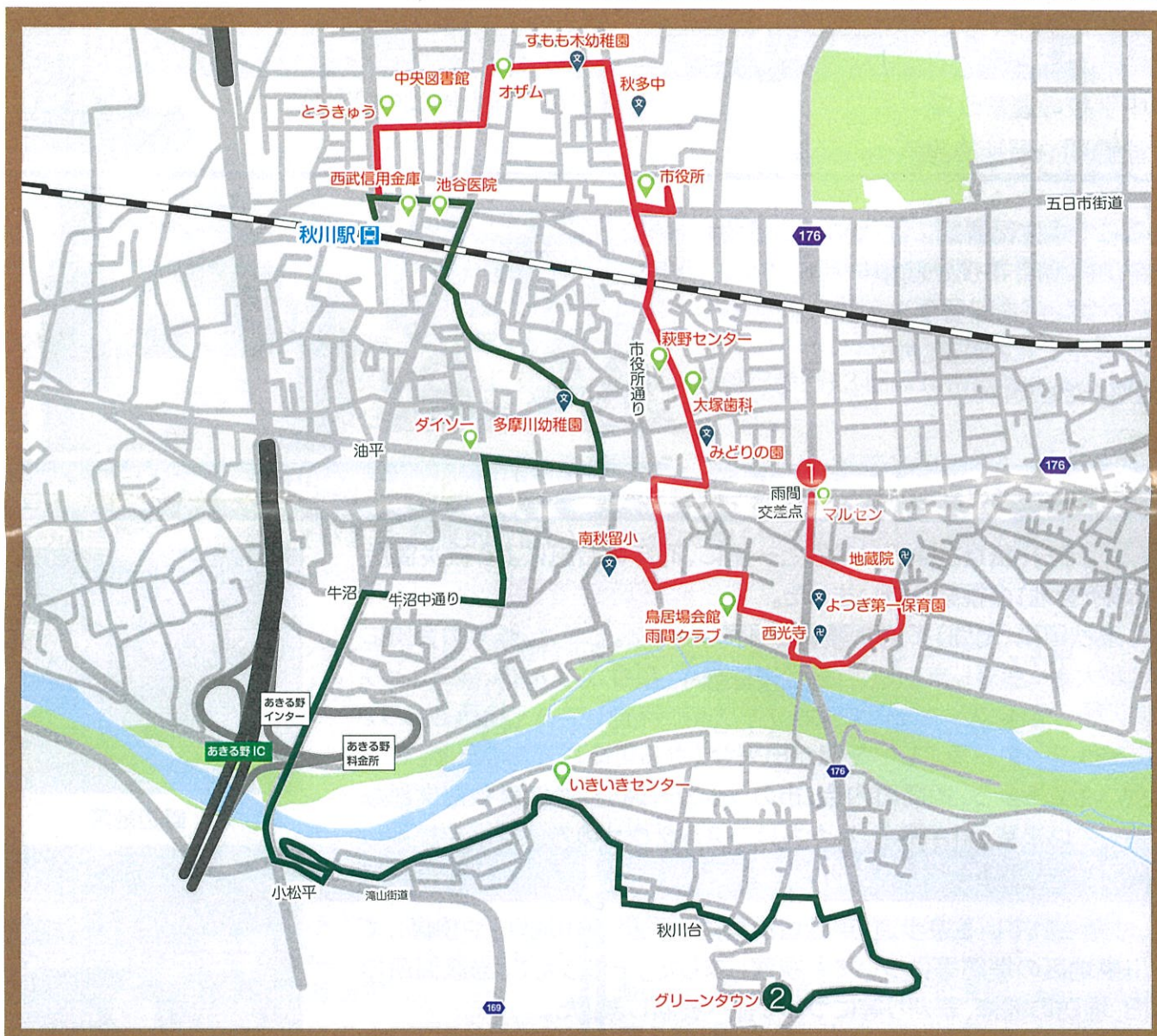
時間別往来型運行ルート

● 2つのルート(①②)で出発地から秋川駅に向かって走行し、その後駅より出発地へ運行

① 雨間ルートは、雨間交差点付近を出発し、南秋留小、萩野センター、市役所、とうきゅう等を通り秋川駅北口へ行きます。

② 牛沼ルートは、グリーンタウンを出発し、いきいきセンター、牛沼、ダイソー、多摩川幼稚園等をまわり秋川駅北口へ行きます。

(※) 2台のワゴン車で南秋留エリアと多西エリアの5ルートを走ります。



【運行ルート例】

凡例：● 買い物 ● 学校 ● 病院等 ● 金融機関 ● 公共施設 ● ATM

①【雨間ルート】**出発** マルセン●→地藏院●→西光寺●→鳥居場会館●・雨間クラブ●→南秋留小●
→みどりの園●→大塚歯科●→萩野センター●→市役所●→秋多中●
→オザム秋川店●→中央図書館●→とうきゅう●A●→秋川駅北口**到着**

②【牛沼ルート】**出発** グリーンタウン→秋川台→いきいきセンター●→小松平→牛沼中通り
→ダイソー●→多摩川幼稚園●→池谷医院●→西武信用金庫●→秋川駅北口**到着**

◎なお、東秋留エリアのワゴン車や秋川駅付近で近隣ルートとの乗り継ぎも検討しています。

多西エリア

● 3つのルート（①②③）で出発地から秋川駅へ向かって走行し、その後、駅より出発地へ運行

① 菅生・瀬戸岡ルートは、菅生高校を出発し、四軒在家・尾崎・瀬戸岡を通り、秋川駅北口へ行きます。

② 上折立・パークハイツルートは、上折立地区を出発し、パークハイツ上、原小宮などを通り、秋川駅北口へ行きます。

③ 中下折立・花ノ岡ルートは、中折立地区を出発し、ブリティッシュタウン・草花住宅、花ノ岡地区を通り秋川駅北口へ行きます。

（※）2台のワゴン車で多西エリアと南秋留エリアの5ルートを走ります。



【運行ルート例】

凡例：● 買い物 ● 学校 ● 病院等 ● 金融機関 ● 公共施設 ● ATM

① 【菅生・瀬戸岡ルート】 出発 菅生高校 → 鯉川橋 → 四軒在家・尾崎町内 → 尾崎観音 → 布田歯科 ● → 瀬戸岡町内 → JA あきがわ本店 ● ● → とうきゅう ● ● → 秋川駅北口 到着

② 【上折立・パークハイツルート】 出発 上折立地区 → パークハイツ → いなげや新草花店 ● ● → 原小宮 → オザム秋川店 ● ● → キララホール ● ● → とうきゅう ● ● → 秋川駅北口 到着

③ 【中下折立・花ノ岡ルート】 出発 中下折立地区 → ブリティッシュタウン・草花住宅 → 草花台会館 ● ● → 平高橋 → 秋川ふれあいセンター ● ● → 市役所 ● ● → 秋川駅北口 到着

◎なお、秋川駅付近で近隣ルートとの乗り継ぎも検討しています。